

第24期 第4回 法学委員会「グローバル化と法」分科会 議事要旨

日時： 2020年1月12日（日） 午後2時～4時

於： 学習院大学法学部第1会議室

出席者： 鮎京正訓、吾郷眞一、阿部克則、金山直樹、川嶋四郎、高山佳奈子、土井政和、道垣内正人、中谷和弘、本多滝夫、松宮孝明、森村進（定足数を満たし成立）、（参考人）伊藤拓

議題

1. 前回議事録（案）の確認

既に電子メールで承認された前回議事録（案）を全員一致で確認した。

2. 参考人による報告

財務省関税局関税企画調整室長伊藤拓氏を招いて、「グローバル化と関税政策・税関行政」をテーマとして報告をいただいた。我が国の関税制度の概要、税関を取り巻く環境変化（業務量の増大と職員定員の推移等）、税関行政の現状と課題（密輸摘発や知的財産侵害物品取締り等）、国際関係（日米貿易協定やWTO改革等）、令和2年度関税改正（とん税の特例措置等）について、伊藤氏より説明を受けた後、活発な質疑応答と討論が行われた。

3. 今期の審議方針

今期の成果として『グローバル化と法の諸課題—グローバル法学のすすめ』（東信堂）が無事出版されたことが委員長から報告された。

また、今期（24期）が2020年9月に終了し来期（25期）が10月から開始することから、2020年度中に今期の分科会を開催するか否かは、予算の制約上、4月の総会後に検討することが了承された。